

「課程博士」

学位論文審査結果の要旨及び最終試験結果の要旨について

- ・ 長すぎて凡長であったり，短すぎて説明不足にならないようにすること。
- ・ 学位論文で触れていないことについて言及し，「この点は不足であり将来研究を展開すべきであるという意見があった。」というような文章は入れないこと。論文の価値が強調されず逆にそこなわれる恐れがある。
- ・ 学位論文審査結果の要旨には，「博士（教育学）あるいは博士（学術）論文として評価できる」ということが明確にわかるように記載すること。
- ・ 最終試験結果の要旨には，「口述試験が行われたこと，具体的試問と申請者の解答の概略，合格と判定したこと」について明確にわかる記載があること。
- ・ 双方とも，字数制限はありませんが，
「学位論文審査結果の要旨」は，2枚程度（表紙を含めず）
「最終試験結果の要旨」は，1枚程度（表紙を含めず）が適切かと思われます。

「論文博士」

学位論文審査結果の要旨及び学力確認結果の要旨について

- ・ 長すぎて凡長であったり，短すぎて説明不足にならないようにすること。
- ・ 学位論文で触れていないことについて言及し，「この点は不足であり将来研究を展開すべきであるという意見があった。」というような文章は入れないこと。論文の価値が強調されず逆にそこなわれる恐れがある。
- ・ 学位論文審査結果の要旨には，「博士（教育学）あるいは博士（学術）論文として評価できる」ということが明確にわかるように記載すること。
- ・ 学力確認結果の要旨には，「口述試験が行われたこと，具体的試問と申請者の解答の概略，合格と判定したこと」及び語学力の力量を確認したことについて明確にわかる記載があること。
- ・ 双方とも，字数制限はありませんが，
「学位論文審査結果の要旨」は，2枚程度（表紙を含めず）
「学力確認結果の要旨」は，1枚程度（表紙を含めず）が適切かと思われます。